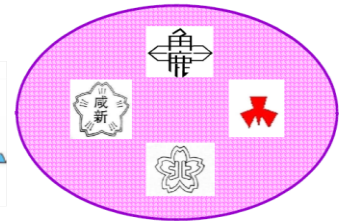


# つながり

～ 保護者のみなさんへ ～



## めざす生徒像 (15歳卒業時)

他との関わりの中で新たな課題を持ち、よりよい自分づくりへと向かう生徒

文部科学省より「校種間連携」についての教育課程研究指定を受け、上記のめざす生徒像を柱として、角鹿地区4校で小中一貫教育の研究を2年間に渡って進めてきました。2年目の取組もまとめの時期になっています。夏休みが終わって今日まで、角鹿校区4校の児童同士や児童と生徒の合同授業等を実施するとともに、各校の教員が互いの授業を参観し、協力して授業づくりを進めてきました。様子をお知らせします。

### ☆児童同士、児童と生徒のつながり

#### 9月7日(木)8日(金)小小連携授業【3・4年生】

敦賀北小学校、咸新小学校、赤崎小学校の3・4年生が、敦賀北小学校に集まって、小小連携合同授業を行いました。今年は、国語や算数といった授業を2日間連続で行い、3校の児童が学習を通して交流を深める場面が多くありました。

今回のような中学年での交流が、高学年、そして中学校での学びと成長につながっていきます。

お互いに良い刺激を受け合った子ども達の成長が楽しみです。



#### 9月29日(金)小中交流行事【合唱コンクール】

角鹿中学校で行われました合唱コンクールに、敦賀北小学校・咸新小学校・赤崎小学校の6年生も参加しました。中学生の合唱を聴いて、その迫りに圧倒されるとともに、この後行われた敦賀市音楽発表会へ意欲が高まりました。

コンクールの最後は、小中合同で全員合唱「世界が一つになるまで」を披露し、美しいハーモニーが会場一杯に響き渡りました。

小中学生の心が音楽で1つにつながったすてきな時間となりました。



#### 10月30日(月)第3回小中連携授業【6年生】

角鹿中学校で、今年度3回目の小中連携授業を行いました。今回は、国語と技術の授業を小学校6年生の児童を対象に、中学校と小学校の教員がティーム・ティーチングペアで授業を行いました。国語では、敬語について小学校よりも1ランクアップした学習をしました。技術では、中学校での情報学習

にふれることができました。

授業の後は角鹿中学校にある8つの部活動の様子を見学しました。中学生が一生懸命に部活動に取り組む姿を見て、どの部活動に入ろうか、また新たな楽しみが増えたようでした。





## ☆教職員同士、学びのつながり





学力調査の結果などから見られる角鹿中校区の児童生徒の弱みを分析し、国語、算数・数学、外国語活動・英語の3教科を中心とした、「学びのつながり」を小中学校の教員が互いに授業を参観し合うことで、改善に努めてきました。特に授業においては、授業終末の「振り返り」に重点を置いて、研究協議をしてきました。



### ①国語

赤崎小学校5・6年生	角鹿中学校1年1組
<p>5年生は意見文、6年生は解説文についての学習が行われた。2つの学年の交流学习を通して、互いによりよくしようと学び合う姿が見られた。文章表現や着眼点のいいところや改善点に目を向け、鋭い意見交換や振り返りが行われ、豊かな言葉が身に付いていた。</p> 	<p>「スズメは本当に減っているか」という課題のもと、一人一人が表やグラフを読み取り、立場を明確にして話し合いが行われた。根拠を分かりやすく発表する中で、資料や文章を深く読もうとする姿が見られ、自分の考えをしっかりと文章に表していた。</p> 

### ②算数・数学

咸新小学校4年生	角鹿中学校2年1組
<p>「500円で3つの品物が買えるか」を課題とし、見積もりを使って考えるという日常生活と関連の深い学習内容で、生活体験を通しての発言がたくさん出ていた。どの児童も主体的に学習に取り組み、授業で分かったことを中心に振り返りをまとめることができていた。</p> 	<p>「多角形の内角の和を求める式を考える」という学習で、グループで話し合いながら、式を導き出すことができていた。小学校の学習内容とのつながりが深く、小学校での学びが授業の中で活かされていた。学習の中で分かったことをしっかりまとめることができていた。</p> 

### ③外国語活動・英語

敦賀北小学校6年生	角鹿中学校1年2組
<p>行きたい国についてインタビューをし合うという学習内容で、楽しく授業が進み、どの子も英語が好きになるような内容だった。特に、インタビュー活動では、児童同士の交流だけではなく、先生方にも表情豊かに積極的に話しかけることができていた。</p> 	<p>「ALTの先生に敦賀の町を案内しよう」という課題に対して主体的に学習に取り組んでいた。特に、小学校で慣れ親しんだ言葉を多く使う姿が見られ、学びのつながりが感じられた。グループ活動では、戸惑っている生徒に進んで助け船を出す姿も見られた。</p> 

## 児童の感想

#### 【3・4年小小連携授業】

・21人と国語や算数の勉強ができたので楽しかったです。チームで学び合いもできました。北小の子もかん新小の子も、やさしかったです。来年は、今年よりもっと友達をつくれるようにしたいです。(赤崎小学校)

#### 【合唱コンクール】

・中学生の人達は、声がそろっていました。男子は大きな声で、女子はひびいた声でした。そろった歌声を聞いて、音楽発表会をがんばろうと思いました。今日はありがとうございました。(咸新小学校)

・歌声を聞いて、こんな風にきれいな歌声で来年は歌うんだと思いました。きんちょうしてくらくらしたけれど、みんなと歌えてよかったです。歌をとどけようとする気持ちが大切だから、歌と気持ちをとどけたいです。(敦賀北小学校)

## 今後の予定

☆ 2月 初旬 小中連携授業 6年 美術・算数・中学校生活の紹介

☆ 3月16日(金) 小中連携授業 6年(中学校1日体験入学)

○ 2月8日(木) : 「平成29年度国立教育政策研究所 教育課程研究指定校事業研究協議会」(東京)で、角鹿校区の職員による取組の発表を行います。

\*新年度につながる取組を、これからも4校教職員が力を合わせて進めて行きます。

